

トリポリ 13 号・成分表、安全シート

① 化学品及び会社情報

製品名 : トリポリ 13 号
会社名 : 柳瀬株式会社
住所 : 兵庫県丹波市山南町谷川 1 3 8 5
担当者名 : 品質管理課
電話番号 : 0795-77-2151
FAX 番号 : 0795-77-2535
緊急連絡先 : 所在地に同じ
整理番号 : MSDS-Z016

② 危険有害性の要約

GHS 分類

健康に対する有害性 呼吸器感作性 区分 1
皮膚感作性 区分 1
発がん性 区分 A (粉じんの吸入)
特定標的臓器・全身毒性 (単回暴露) 区分 1 (呼吸器系)
特定標的臓器・全身毒性 (反復暴露) 区分 1 (呼吸器系、肝臓)
上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

GHS ラベル要素

シンボル



注意喚起語

危険

危険有害性情報

吸入するとアレルギー、喘息または呼吸困難を起こすおそれ
アレルギー性皮膚反応を引き起こすおそれ
発がんのおそれ
呼吸器系の障害
長期にわたる又は反復暴露による呼吸器、肝臓の障害

注意書き

- 【安全対策】** この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。
粉じんを吸入しないこと。
必要に応じて保護眼鏡を着用すること。
呼吸用保護具／保護面、保護手袋及び保護衣を着用すること。
取扱い後はよく手を洗うこと。
- 【救急処置】** 吸入した場合、空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪い時は、医師の診断、手当を受けること。
- 【保管】** 高温を避け、換気の良い涼しい所に保管する。
- 【廃棄】** 都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。
洗浄液は無害化して廃棄する。

③ 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区分 : 混合物

成分	CAS-No.	化審法番号	含有量 (%)
結晶シリカ (SiO ₂)	14808-60-7	1-548	75%
パラフィン	8009-03-8	-	2~3%
	64742-61-6	-	
	63231-60-7	-	
ロジン	8050-09-7	-	2%
鉱油	非公開	-	1%未満

※その他カルボン酸などを含む。

④ 応急措置

眼に入った場合

目をこすらずに柔らかい布で異物を取り除き、水で10分間以上洗い流し
痛みが残るようであれば医師の手当を受ける。

皮膚に付いた場合

直ちに水又は温水と石鹼水とで十分に洗浄する。
必要に応じて医師の診察を受ける。

吸入した場合

新鮮な空気のある場所に移し、安静にさせる。
鼻をかみ、多量の水で鼻孔を洗浄し、うがいをさせる。
徴候や症状が持続する場合は、医師の手当を受ける。(バフ粉塵の場合)

飲み込んだ場合

多量の水を飲ませ、できるだけ吐き出させる。
速やかに医師の診察を受ける。

応急処置に関する特記事項

応急処置はすべて切断又は研磨作業中に発生する粉塵によるものです。

⑤ 火災時の措置

消火剤：初期火災には粉末消火薬剤、二酸化炭素、泡消火薬剤、乾燥砂等を用いる。

大規模な火災の際には泡消火剤等を用いて空気を遮断することが有効である。

使ってはならない消火剤：水の使用は、火災を拡大し危険な場合がある。

⑥ 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

関係者以外の立入りを禁止する。

作業者は適切な保護具（保護手袋、保護眼鏡、保護衣、長靴等）を着用すること。

環境に対する注意事項

製品が河川・海等に排出されないように注意する。排出物を直接、河川や下水に流してはいけない。

回収、中和、封じ込め及び浄化の方法・機材

漏洩物を空容器に回収する。

⑦ 取り扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策 「暴露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

局所排気・全体換気 「暴露防止及び保護措置」に記載の設備対策（局所排気措置、全体換気）を行う。

注意事項 屋外又は換気の良い地域でのみ使用すること。

接触、吸入又は飲み込まないこと。

粉じんを吸入しない。

取扱い後はよく手を洗うこと。

保管

技術的対策 取り扱うために必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。

混触禁止物質 「安定性及び反応性」を参照。

保管条件 高温を避け、換気の良い涼しい所に保管する。

容器包装材料 破損しないものに入れる。

⑧ 暴露防止措置

設備対策 粉じんの吸入を避けるために排気用の換気を行うこと。

保護具

呼吸器の保護具 適切な呼吸器保護具（防塵マスク等）を着用すること。

手の保護具 適切な保護手袋（皮手袋等）を着用すること。

眼の保護具 保護眼鏡（普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型）を着用すること。

皮膚及び身体の保護具 保護衣、安全靴等の保護具を着用すること。

⑨ 物理的及び化学的性状

外観等	: 赤褐色固体
臭い	: 微臭
pH	: データなし
融点・凝固点	: 知見なし
沸点、初留点及び 沸騰範囲	: データなし
引火点	: データなし
爆発範囲	: データなし
蒸気圧	: データなし
比重（密度）	: データなし
溶解度	: 水に不溶
n-オクタール/水分配係数	: データなし
自然発火温度	: データなし
分解温度	: データなし

⑩ 安全性及び反応性

安定性、反応性	通常の手扱い条件（常温）において安定。
危険有害反応可能性	結晶シリカは強酸化剤と反応し、火災や爆発の危険をもたらす。 フッ化水素と反応する。
避けるべき物質	火気、直射日光。
混触危険物質	酸、アルカリ性物質との同一場所での保管は避ける。 特に強酸化剤、フッ化水素
危険有害な分解生成物	特になし。

⑪ 有害性情報

急性毒性	: カルボン酸	ラット LD ₅₀	4640mg/kg		
パラフィン		ラット LD ₅₀	>5000mg/kg（経口） ウサギ LD ₅₀	3600mg/kg（経皮）	
ロジン		ラット LD ₅₀	7800mg/kg（経口） ウサギ LD ₅₀	>2500mg/kg（経皮） LD ₅₀	2.3mg/L（吸入：粉じん）
鉱油		ラット LD ₅₀	>5000mg/kg（経口） ウサギ LD ₅₀	>5000mg/kg（経皮） ラット LD ₅₀	2.18mg/L（吸入：ミスト）

皮膚腐食性及び皮膚刺激性 : データなし

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 : データなし

呼吸器感作性 : ロジンは反復或いは長期にわたり吸入すると、感作を引き起こす恐れがある。

日本職業・環境アレルギー学会で感作性化学物質にリストアップされて

いる（日本職業・環境アレルギー学会雑誌、2004）。

また、日本産業衛生学会では気道感作性物質第1群（産業学会勧告、2005）に分類されている。

本製品はロジンを1%以上含むため、区分1とした。

皮膚感作性 : ロジンは反復或いは長期にわたり吸入すると、感作を引き起こす恐れがある。日本接触皮膚炎学会でロジン(Rosin-Colophony)を皮膚感作性物質に分類している（日本接触皮膚炎学会 HP、2006）ほか、ACGIHでSEN（ACGIH7th、2001）、日本衛生産業学会で皮膚感作性物質第1群（産業学会勧告、2005）DFGでSh(MAK/BAT、2004)に分類されており、ACGIH（7th、2001）およびDFGOT（vol.11、1998）においてアレルギー性接触皮膚炎の症例報告がある。

生殖細胞変異原性 : データなし

発がん性 : 結晶シリカは粉じんの吸入によりヒトに対する発がん性が認められる。本製品は結晶シリカを0.1%以上含むため、区分1とした。

生殖毒性 : データなし

特定標的臓器毒性（単回暴露）: 結晶シリカは、反復暴露に比べるデータが大幅に少ないが、ヒトにおいて短期暴露でも吸入濃度が高い場合は呼吸器系に影響を及ぼすとの記述がある。本製品は結晶シリカを10%以上含むため、区分1とした。（呼吸器系の障害）

特定標的臓器毒性（反復暴露）: 結晶シリカは、Priority1文書にヒトにおいて呼吸系、肝臓に影響を及ぼすとの記述がある。本製品は結晶シリカを10%以上含むため、区分1とした。（長期または反復暴露による呼吸器系、肝臓の障害）

吸引性呼吸器有害性 : データなし

⑫ 環境影響情報

態毒性 : データなし
残留性・分解性 : データなし
生体蓄積性 : データなし
土壤中の移動性 : データなし
オゾン層への有害性 : データなし
水生環境急性有害性 短期（急性）: 分類できない
水生環境急性有害性 長期（慢性）: 分類できない

⑬ 廃棄上の注意

残余廃棄物 : 廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。
汚染容器及び包装 : 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

⑭ 輸送上の注意

国際規制 : 国際海上危険物規則 (IMDG Code)、IATA 危険物規則に非該当。

輸送の特定の安全対策及び条件 : 輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。

転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に
行う。

輸送容器は衝撃を与えないようにていねいに扱い、激突させたり、
引きずる等の粗暴な取扱いをしない。

⑮ 適用法令

労働安全衛生法

水質汚濁防止法

産業廃棄防止法

⑯ その他

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、含有量、物理的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。

また、注意事項は、通常の手扱いを対象としたものなので、特殊な手扱いの場合には用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご使用下さい。